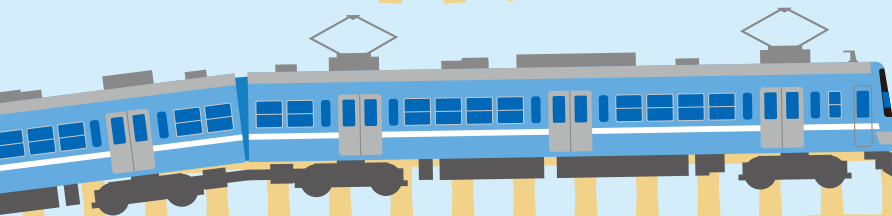


まちづくりと交通の広場

近江鉄道線を活かした
交通まちづくりフォーラム
参加者募集!

しが2023

誰もが暮らしやすく活力ある地域をつくるには、「移動」のあり方が大きく関わります。開通125周年となる近江鉄道線。もしこの鉄道がなかったらまちはどうなっていたでしょう？車中心の暮らしが続けば、このまちはどうなるのでしょうか？2024年に上下分離、公設民営となる節目を迎える近江鉄道線を題材に、これからのまちづくりを共に考えてみませんか。



今ココ

活気あるまち

選ぶのはわたし!

衰退するまち

親に送迎を頼まず
自分で移動したい

免許返納後に
困りたくない

日程 2023年 **10月9日(月祝) 第1回フォーラム まちづくり×交通で地域を元気に!**

10月14日(土) フィールドワーク(1) 近江鉄道100円デーでいつもと違うまちを楽しもう
11月12日(日) 第2回フォーラム 先進事例 交通を変えることでQOLを上げたまち・福井
12月10日(日) 第3回フォーラム 私たちのまちと交通どないする?
12月16日(土) 第4回フォーラム みらいのまちと交通を考えよう

※第1回~第3回フォーラムの第1部はオンライン配信があります。

八日市駅周辺にて開催

篠谷浩介さん
第1回に登壇!



場所 アピアホール(第1回)
東近江市八日市浜野町3-1 ショッピングプラザアピア4階
近江鉄道八日市駅より徒歩2分

八日市コミュニティセンター(第2回~第4回)
東近江市八日市町9-20 近江鉄道八日市駅より徒歩10分
※フィールドワークは近江鉄道沿線の各所

対象 未来にわくわくしたい人、何かやってみたい人
(まちづくりや交通に関心のある人、大歓迎!)

定員 第1部(講演とディスカッション) 第1~第3回70人 第4回30人
第2部(ワークショップ)、フィールドワーク 30人
申込み先着順。ただし第2部は全回参加する人を優先

参加費 全日程通し参加 1,000円のみ(2回目以降からの全参加も同様)
会場半発参加またはオンライン参加(第1部のみ) 1,000円/回

主催 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀

後援 近江鉄道沿線地域活性化協議会〔滋賀県、彦根市、近江八幡市、甲賀市、東近江市、米原市、日野町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町〕
一般社団法人滋賀県タクシー協会、一般社団法人滋賀県バス協会
淡海ネットワークセンター(淡海文化振興財団)、近江鉄道株式会社
NPO 法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾
人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)、ほか

協力 一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク・エコ交通研究会
おつ交通まちづくり推進会、しがローカルSDGs研究会
まちづくりネット東近江、輪の囲わ湖推進協議会

問合せ 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀 事務局
TEL 050-1808-3441(山田)
Email yasashii.kotsu.shiga@gmail.com

申込み 以下のURLから各回の3日前までにお申し込みください。
<https://yasashiikotsushiga.wixsite.com/machizukuri/blank-1>



まちづくりと交通の広場 しが2023

情報収集に、仲間づくりに、新しいチャレンジに！

フォーラム第2部は交通の視点からまちづくりを考える楽しい「まちづくりワークショップ」！1回ごとでも、第1部だけの参加もできますが、第2部を含めて全回通して参加いただくことで学びが深まり仲間ができるプログラムです。最終回を含む3回以上のワークショップまたはフィールドワークの参加で修了証を進呈！終了後には毎回「懇親会」あり（別途参加費をいただきます）。

プログラム詳細（予定）

第1回フォーラム まちづくり×交通で地域を元気に！

- 日時：10月9日（月祝）13:00～17:30
- 場所：アピアホール

交通まちづくりプロデューサーはじめの一步！仲間づくりをしよう

第1部 講演とディスカッション（約2時間半）

- 講演「鉄道をもっと活用して「選ばれる地域」になろう」
藻谷浩介さん（地域エコノミスト、株式会社日本総合研究所主席研究員）
- 講演「モビリティの結節点を「みんなのリビングルーム」に」
山下裕子さん（ひと・ネットワーククリエイター、広場ニスト）
- パネルディスカッション
藻谷浩介さん、山下裕子さん
小中儀明さん（有限会社ヨークハウス 代表取締役）
コーディネータ 宇都宮浄人（関西大学経済学部教授/交通経済学）



第2部 ワークショップ

- ・鉄道とわたし ・知ってる？まちの資源発掘！
- 進行：上田洋平（滋賀県立大学地域共生センター 特任講師）

登壇者プロフィール

藻谷 浩介さん（地域エコノミスト、株式会社日本総合研究所主席研究員）

山口県生まれの59歳。平成合併前の全3,200市町村、海外119ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興、コロナ対応などに関し研究・著作・講演を行う。2012年より現職。著書に「デフレの正体」「里山資本主義」（共にKADOKAWA）、「世界まちかど地政学NEXT」（文芸春秋）など。近著に「日本の進む道～成長とは何だったのか」（毎日新聞出版、養老猛司との対談）。国内の鉄軌道全線のほか、海外44か国で鉄道乗車の経験を持つ。

山下 裕子さん（ひと・ネットワーククリエイター、広場ニスト）

2007年よりグランドプラザ運営事務勤務。2009年（財）地域活性化センター第21期全国地域リーダー養成塾修了。2011年よりNPO法人GPネットワーク理事。2013年より全国まちなか広場研究会理事。2014年より、まちなか広場研究所の屋号で個人活動開始。様々な地域のまちなか広場づくりに携わる地元の皆様の伴走者の立ち位置で活動中。著書に『にぎわいの場 富山グランドプラザ～稼働率100%の公共空間のつくり方』（学芸出版社）、「生きた景観マネジメント」（共著・鹿島出版会）、「コンパクトシティのアーバンイズム」（共著・東京大学出版会）

小中 儀明さん（有限会社ヨークハウス 代表取締役）

1976年滋賀県東近江市生まれ。精華大学に在学中の1996年に二十歳で起業。2坪の古着屋からスタートし、アメカジショップ「FORTY NINERS」を立ち上げる。2007年本町商店街に移転。2009年、老若男女が夢を語る場が作りたいと居酒屋「ふじや」を作る。2011年、オリジナルブランド「ワンピースオブロック」を始動。2013年には、世界でも類を見ないビンテージミシンが稼働する縫製工場「コナーズソーイングファクトリー」を立ち上げる。国内外や著名人にも多くフォロワーを持ち「デニムの神様」と称される。ビンテージデニムや、縫製に造詣が深く、縫製業と地元・滋賀の価値を上げるべく日々精進する縫製家。

宇都宮 浄人（関西大学 経済学部 教授/交通経済学）

人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀 代表。国内各地の公共交通の会議に参加。国会参事人としても発言。「交通まちづくりの広場」事務局長。富山・岡山・福井・金沢など各地の交通まちづくり・市民活動の支援を行う。著書に「路面電車ルネッサンス」（新潮新書、第29回交通図書賞受賞）、「地域公共交通の統合的政策」（東洋経済新報社、2021年度日本交通学会賞受賞）、「地域再生の戦略」（筑摩書房、第41回交通図書賞受賞）など。

上田 洋平（滋賀県立大学地域共生センター 特任講師）

1976年京都府生まれ。滋賀県在住。滋賀県立大学地域共生センター特任講師。滋賀県立大学大学院人間文化学研究所地域文化学専攻博士課程単位取得退学。専門は地域文化学、地域学。風土に根ざした暮らしと文化に関する研究と実践に取り組む一方、地域づくりを担う人材の育成や地域と連携した「共育プログラム」の開発・運営にも従事するほか、「まちづくりのホームドクター（かかりつけ医）」として地域に関わるあらゆる分野の相談に乗る。

プレ企画「カーフリーデーふくい2023

～路面電車でガラッと変わった福井と交通イベントを見に行こう！

連続フォーラム開催に先立ち、カーフリーデーふくいの視察に出かけます。ご一緒に参加を希望される方は事務局までご連絡ください。

- 日程：9月23日（土） ●集合：えちぜん鉄道・福井鉄道 田原町駅前に10時

- 問合せ** 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀 事務局
TEL 050-1808-3441（山田） Email yasashii.kotsu.shiga@gmail.com
- 申込み** 以下のURLから各回の3日前までにお申し込みください。
https://yasashiikotsushiga.wixsite.com/machizukuri/blank-1



フィールドワーク (1) 近江鉄道100円デイでいつもと違うまちを楽しもう

- 日時：10月14日（土）10:00～17:00
- 場所：近江鉄道沿線（詳細は10月9日のワークショップで決定）

見よ、鉄道とまちの度力！

第2回フォーラム 交通を変えることでQOLを上げたまち・福井

- 日時：11月12日（日）13:00-17:30
- 場所：八日市コミュニティセンター

こんなすごいことをやっちゃったまちがある

第1部 講演とディスカッション（約2時間半）

- 講演「交通結節エリアのまちづくり～福井駅周辺での取り組み」
岩崎正夫さん（まちづくり福井株式会社 会長）
- 講演「まちづくりの核としての駅と鉄道活用」
伊東尋志さん（金沢大学人間社会環境研究科博士後期課程、元えちぜん鉄道株式会社専務取締役）
- 講演「地方鉄道再生の合意形成と市民・NPOそれぞれの役割」
清水省吾（NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）事務局長、NPO法人RACDA高岡 理事、交通ライター）



パネルディスカッション

岩崎正夫さん、伊東尋志さん、清水省吾、近江鉄道利用者

第2部 ワークショップ

- ・フィールドワーク報告&近江鉄道線の現在と過去
- ・近江鉄道線の転機はどこ？
- 進行：芝久生（人と環境にやさしい交通をめざす協議会）
南村多津恵（輪の国びわ湖推進協議会、滋賀グリーン活動ネットワーク・エコ交通研究会）

《自主研究》フィールドワーク (2) 125年前の開業当時のことを知ろう

第3回フォーラム 私たちのまちと交通どないする？

- 日時：12月10日（日）14:00～18:30
- 場所：八日市コミュニティセンター

私たちのまちはどう変わってきた？何が転機だった？何が問題？

第1部 講演とディスカッション（約2時間半）

- 講演「駅と広場から考える近江の文化とライフスタイル」
山下裕子（ひと・ネットワーククリエイター、広場ニスト）
- 講演「三方よしの交通まちづくり 交通を変えるとまちは変わる！」
塩見康博（立命館大学理工学部 教授）
- 講演「〇〇駅をハックしよう！ ～通りすぎる駅から、みんなの居場所となる駅へ～」
阿部俊彦（立命館大学工学部 准教授）



パネルディスカッション

山下裕子さん、塩見康博、阿部俊彦
コーディネータ 谷口嘉之（滋賀県立大学地域共生センター 地域連携コーディネータ）

第2部 ワークショップ

- ・フィールドワーク報告&フューチャーデザイン①過去から現在を考える
- ・旗さし～発見を地図に落としこごう
- 進行：谷口嘉之（滋賀県立大学地域共生センター 地域連携コーディネータ）

《自主研究》フィールドワーク (3) 自由に近江鉄道線を楽しもう

第4回フォーラム みらいのまちと交通を考えよう

- 日時：12月16日（土）14:00-18:30
- 場所：八日市コミュニティセンター

将来、まちをこんなふうにしたい！そのためのアイデアの旗をどんどん立てちゃえ

第1部 ワークショップ

- ・フィールドワーク報告&フューチャーデザイン②未来から現在を考える
- ・旗さし～みんなの“こうだったらいいな！”を見える化しよう

第2部 フリーディスカッション

- 進行：上田洋平（滋賀県立大学地域共生センター 特任講師）
谷口嘉之（滋賀県立大学地域共生センター 地域連携コーディネータ）

修了式

●主催 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀

「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会2021 in 滋賀」でつながった専門家や実践家を中心に今年6月に設立した団体です。近江鉄道線の上下分離を機会に、まちづくりに交通を活用する人材を育成し、持続可能なまちと交通をめざします。

代表 宇都宮 浄人からのメッセージ

近江鉄道線が上下分離され、地域のものになります。地域の宝物として、どのように活かせばよいのか。知識も体力も要りません。このフォーラムに出て、ちょっぴり地域貢献してみませんか。

